



議会だより

■発行 奥尻町議会

■編集 広報編集特別委員会

☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



平成25年の幕開け！

平成25年の新たな年が始まりましたが、さて今年はみなさんにとってどんな年になるのでしょうか…

平和でいい年でありますように。

(写真は、左上が青苗地区言代主神社での初詣の様子、右上と下が消防団の出初め式の様子)

【主な目次】

●第4回定例町議会

- ・一般質問：工藤 勇議員 P2
- 制野 征男議員 P3~4
- ・専決処分、補正予算、条例ほか P5~6

●高校生が議会傍聴ほか P7

- 総務産業常任委員会 P8
- 奥尻町災害視察の推移 P9

第4回定期町議会

少し、家畜の市場単価は下
島内の漁業は生産額が減

質問



落し、商業についても消費活動が低迷している実態にあるが、町長の経済実態についての認識、景気回復までの町独自の支援策、異業種を交えた定期的な懇談会を開催の考えについて聞いた

新村 卓実 町長

各団体からの相談はいつも対応し、意見交換をしているので、開催の考えは現在もっていないが、指摘もあるので開催について検討したい。

漁業は、イカ、ホッケ漁は伸びず、なまこは価格が低迷している。

黒毛和牛は安定している

各団体からの
相談には対応
意見交換も

工藤 勇 議員

異業種の懇談会開き
産業の支援はかれ

一般質問



▶不漁が続いたイカ漁

が他の品種は低迷している。
商業は飲食業の減少、消費の低迷により景気は悪化している。
観光における交流人口の増加は地域経済の下支えとなるので、入込の回復が肝心だと認識している。

漁業の整備としては、青苗漁港の衛生管理型漁港や災害拠点漁港として防波堤のかさ上げ、整備促進、製氷施設、冷蔵庫などの新設に町費による整備をしていく。

商工関係では、プレミアム商品券の発行、乗用車の復路助成キャンペーなど奥尻島の魅力をうちだしていく。

各団体からの相談はいつ

でも対応し、意見交換をしているので、開催の考えは

現在もっていないが、指摘もあるので開催について検討したい。

平成24年12月11日、「第4回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

東北地方の震災により、奥尻の防災に関する関心が高まっており、当町には行政、議会、防災の専門家、大学生など多くの方々が視察のため来島しています。また、来年度は北海道南西沖地震から20周年にあたり、防災の先進的役割を果たしている奥尻町として情報報を全国に発信する義務があると思います。

19年前に全国から寄せられた支援に対するお礼の意味も込めて、地震・津波・

おくしり議会だより
専門家招いてのシンポジウム開催を

質問

火山などの災害・防災の専門家を招いてのシンポジウム開催を勧めますが、開催する意思はあるのかお聞きします。



制野 征男 議員

町以外の団体での開催希望で積極的に協力していきたい

▼防災対策として整備された

人工地盤「望海橋」



新村 卓実 町長

答弁

全国的に防災意識は高くなっていると感じております。

そんな中、来年度には20周年の追悼式典は行うと思われるが、防災のシンポジウムに関しては、たいへん有意義だと考えるものの、事業主体は町以外の団体で開催することを希望し、開催希望があつた場合は積極的に協力していきたい。



火山などの災害・防災の専門家を招いてのシンポジウム開催を勧めますが、開催する意思はあるのかお聞きします。

新村 卓実 町長

答弁

全国的に防災意識は高くなっていると感じております。

そんな中、来年度には20周年の追悼式典は行うと思われるが、防災のシンポジウムに関しては、たいへん有意義だと考えるものの、事業主体は町以外の団体で開催することを希望し、開催希望があつた場合は積極的に協力していきたい。

お願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整が必要ですので、議長の自宅には送付せず、直接、奥尻町議会事務局へ差出人等を必ず明記の上で送付してください。
なお、期日や期限等があるものについては、早めにお願いします。

◆送付先 奥尻町字奥尻806番地 奥尻町議会議長 宛

パークゴルフ場の活用を

質問

リトーレパークゴルフ場も設置されてから3年が経過し、芝の管理もコース内の在り様も一歩ずつですが、改善されている実態にあると思う。



▶昨年の町長杯大会

制野 征男 議員

利用人数に対する感想を尋ねます。

また、10月に町長杯が開かれましたが、来年度は「島内の愛好者のレベルアップ」「交流」「観光振興」となる島外者参加のオープン大会を早い時期に開催する考えがないのか伺います。

愛好会・協会設立も必要

新村 卓実 町長

答弁

今年度の利用実態から来年度に向けての活用に活かす方策について確認しておくる必要があるが、今年度の

に浸透している。

来年度は震災20周年の節

に進めていきたい。
大会内容の検討を進めてい

たい。

目であり、観光をはじめ、様々な角度から地域間交流も必要だと考えており、オープニングについては年間イベント状況を見据えながら

なお、パークゴルフの愛好会や町内の協会の設立も必要と感じているので、更なる町内利用者の拡大に力をそそぎたい。

乗用車キャンペーン

来年度も実施を

制野 征男 議員

来年2月に町長選挙があるため平成25年度は骨格予算編成となり、極力政策予算は計上できない状況下な

今年度実施した乗用車キャンペーンは、昨年度の実績とは大差がなく完了しました。

来年度も乗用車キャンペーンを実施すべきだと考えるが確認したい。

この実績から現行でおこなっている条件について再考を加える必要があり、改

善策として「実施時期を5月からとすること」「復路無料の航路は自由とするこ

と」を提案しますが、何よりも今年度の実績を検証し、関係者と十分な協議をして、



▶乗用車キャンペーン事業

早い段階で関係機関と協議進める

新村 卓実 町長

答弁

来年2月に町長選挙があるので、どうしても事業スタートは遅くなることが予想される。しかし、実績を早い段階で検証し、関係機関と十分協議を進め、実施の方向で検討する。

重要なのは、今の奥尻島に魅力がどれだけ兼ね備えているかで、質の高いおもてなしと観光連携が出来ればPRもより高い効果をもち、事業の充実が図られることと期待している。

(5)

補正予算 (一般会計)

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算（第7号）
…………原案可決

諸収入 8千5百53万1千円
83万8千円



平成24年12月11日に開会された「第4回奥尻町議会定例会」で、次の事項について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

専決処分

●平成24年度奥尻町一般会計補正予算（第6号）
衆議院議員選挙に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ五百一十一万五千円を追加し、歳入歳出予算総額を33億4千6百4万9千円としまし
た。

平成24年度奥尻町一般会
補正予算（第6号）

● ● ● 承 認

衆議院議員選挙に係る予

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3百万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を34億4千9百5万1千円としました。

補正内容及び補正額は次のとおりです。

△3千4百80万円
〔歳出〕
総務費 民生費 衛生費
2百16万9千円 △20万9千円

●平成24年度奥尻町あわび種苗育成センター事業特別会計補正予算（第1号）

●平成24年度奥尻町後期高
4千73万4千円としました。

● ● ● ● ● 原案可決

補正予算 (特別会計)

平成24年度奥尻町国民健康保険直営診療所特別会計
補正予算（第2号）

しました。

●平成24年度奥尻町簡易水道事業特別会計補正予算
(第1号)

……原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2百75万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を6千1百35万3千円としました。

●平成24年度奥尻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)

……原案可決

収益的収入に1億2千2百51万9千円を追加し、総額8億4百79万8千円に、収益的支出から7百94万2千円を減額し、総額8億2千2百72万1千円としました。

●平成24年度奥尻町公共下水道事業特別会計補正予算
(第2号)

……原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ68万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を1億8百31万6千円としました。

●平成24年度奥尻町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

……原案可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ37万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を3千2百49万5千円としました。

条例

- 奥尻町暴力団排除条例
- ……原案可決
- 奥尻町、町民及び事業者が一体となって暴力団の排除を推進し、地域経済の発展を求める意見書
- ◎生活保護基準の引き下げはしないことなどを政府に求める意見書
- ◎トド等海獣による漁業被害に関する国への意見書
- ◎安心できる介護制度の実現を求める意見書

3つの意見書を提出しました

全な発展に寄与し、町民の安全で平穏な生活の確保に資することを目的に、本条例が制定されました。

また、議会運営委員会から発議のあった次の意見書は、可決されたことにより、各関係機関へ提出しています。

12月7日に開催された「第4回奥尻町議会定例会」の議事運営について審議しました。

議会運営委員会

◎非核・平和の町宣言

議会運営委員会から発議のあった次の意見書は、可決されたことにより、各関係機関へ提出しています。

12月11日に開会される「第4回奥尻町議会定例会」の議事運営などを審議しました。

会期は1日間とし、当日の議事日程などを決定しました。

また、各団体等から要請のあった意見書については3意見書を各委員による提案とするほか、「非核・平和の町」を奥尻町議会として宣言することなどを決定しました。

議会は、町民みなさんと行政を結ぶパイプです。

議会は傍聴することができます

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけ

☆★ 次の定例会は3月です。★☆



▲真剣に傍聴する高校生

高校生が議会傍聴

平成24年12月11日に開会された「第4回奥尻町議会定例会」で、北海道奥尻高等学校（石戸谷亮校長）の3年生のみなさんが傍聴に訪れました。

この高校生の傍聴は、毎年12月の定例会で行われていて、今年は生徒21名と引率教諭2名の計23名が来られています。

いつもはまばらな傍聴席がこの日ばかりは満員状態となり、議会も緊張感が漂う中、いつも以上に気合いの入っている議員も見受けられました。

なお、定例会終了後、生徒から感想文が寄せられましたのでご紹介しますが、紙面の関係上、2名分しか掲載できませんのでご了承願います。

私は今回の議会見学で、奥尻町の良い面、悪い面を考えてみたり、意見を言い合うことで奥尻町をより良い町にしようとしている姿を見て、自分も町づくりに貢献したいと思いました。

暮らしやすくするため、とても真剣に話し合いをしていました。島民一人一人のためにより良い環境なんだな、この島のことをとても誇りだ

く、とても感心させられました。

ているんだなと思いました。例えば、球浦地区の越波の問題で、以前から言っているけどなかなか進まず、早く作業を行ってほしいと

特に自分がこんなことまで気にするのかと思ったのは除雪のことです。高齢者の家の前に雪を置かないようにするなどの提案をして、

自分は奥尻島に越してきて、とても住みやすい所だなと思って暮らしてきました。

自分達が知らない所でこういうふうに話し合っていると思ったら、自分達の暮らしてるこの奥尻はとても良い環境なんだな、この島のことをとても誇りだ

議会見学

3年 Hさん

今回初めて議会を見て、意見をたくさん言つたり、

その意見にすぐ答えたりして

ていて本当に驚きました。

町のことを考え、一つ一つ時間をかけて議会を行つ

3年 O君

今回初めて議会を見て、意見をたくさん言つたり、

その意見にすぐ答えたりして

ていて本当に驚きました。

町のことを見て、こんなにも奥尻のために必死にな

宮津小6年生も議会見学

宮津小学校（米田 昌校長）の6年生児童3名が、担任教諭の引率で11月21日に奥尻町議会を訪れました。社会科学習の一環として施設内を見学した児童たちは、議会の仕事などの説明を熱心に聞いたり、メモをとるなどしながら、その学習成果を学校へ帰ってから新聞にまとめたそうです。なお、議場を見学した際、児童達は順番に議長席に座らせてもらい、貴重な体験にとても喜んでいました。



▲説明を熱心にメモする児童達

総務産業常任委員会

にはクリアされているとの回答。

11月20日

ことになつてているとの回答。
ミックス処理施設には過疎債か辺地債の適用はならないのかとの問い合わせに、財政当局に聞いているが対象外のことですとの回答。

10月19日と11月20日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

教育委員会関係



▲環境センター関係



▲教育委員会関係



▲住民課関係



▲建設水道課関係

リサイクル施設を作った場合には補助の対象になるとの回答。

住民課関係

■公共下水道について

球浦から宮津小教員住宅までの接続工事を25年度から31年度までに実施する。

■特別養護老人ホーム視察

大橋施設長からショートステイの利用度が高く、要請に応えるために隣接されている高齢者生活センターの空き室を利用しての活用を檜山振興局に打診しており、許可が出れば町条例の改正と介護保険料の見直しが必要となるが、議会の協力を得たいとの説明がありました。

ミックス処理施設は25年度に建設を予定しており11月に建設を予定しております。22日から基本設計に入る。他に下水道と水道における収支についての報告もありました。

■奥尻浄水場の改築工事

平成26年度から30年度に計画し、その後、谷地、武士川地区を計画地区にいれる。谷地地区には平成30年に具体的な説明に入る、との報告。

■簡易水道について

奥尻浄水場の改築工事は平成26年度から30年度に計画し、その後、谷地、武士川地区を計画地区にいれる。谷地地区には平成30年に具体的な説明に入る、との報告。

おくしり議会だより

環境センターから焼却施設定期点検整備の推移、平成23年度資源ごみ回収、廃家電取り扱い、平成23年度使用済み自動車取り扱い実績などについて報告がありました。

環境センターから青苗小体育館の津波対策は配慮されているのかとの問いに、新校舎は津波対策が講じられていることから体育館については特に考えてはいないとの回答。耐震化についての問い合わせ。

委員から青苗小体育館の津波対策は配慮されているのかとの問い合わせに、新校舎は津波対策が講じられていることから体育館については特に考えてはいないとの回答。耐震化についての問い合わせ。

委員から宮津の自衛隊官舎も下水道が繋がることになるが了解は得られているのかとの問い合わせに、公共下水道法では公共施設は必然的に接続しなければならない

ことになつているとの回答。

報告について、委員からし尿処理施設の使用の実態についての問い合わせには、建設水道課でミックス処理を検討中であるとの回答。旧ごみ焼却施設の処理についての問い合わせには、単独での処理には1億円必要であるが、

手紙をだしており、ついたころに再度電話をしてみたい。交渉のタイムリミットは今年度中です。との報告がありました。

また、道々改良に伴う立ち退き移転については今年度1箇所になるとの報告。

全国424議会が奥尻町視察

20年間の推移、議員数は3,536名



平成5年7月12日に「北海道南西沖地震」が発生し、今年は震災から20年目の節目を迎ますが、これまで全国各都道府県や各市区町村の議会から奥尻町に災害視察で多くの議員が訪れており、奥尻町議会で現地説明等の対応をしてきました。震災から20年間のこれまでの推移についてご紹介します。

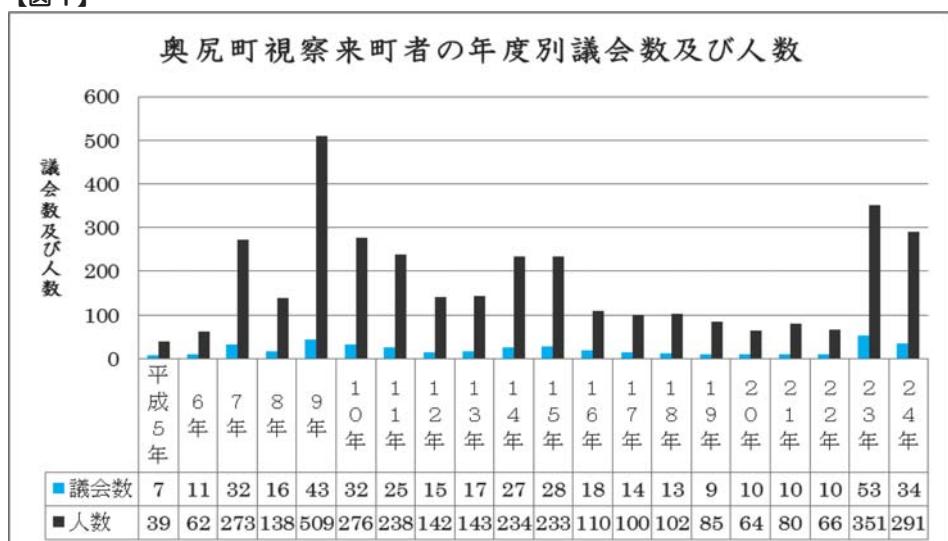
平成24年度までの20年間で、全国から奥尻町へ視察で訪れた議会は424議会、議員数は3,536名にものぼっています。

図1をご覧になってわかるとおり、平成9年度の視察者が最も多く、次いで平成23年度、24年度と続いております。

平成7年度から視察者が急に増えてきておりますが、これは、奥尻町の復興工事が進められていた最中で、「完全復興宣言」する1年前の平成9年度がピークとなっております。

その後はやや平均的に推移し、平成23年度と24年度にまた視察者が増えておりますが、これは、平成23年3月に発生した「東日本大震災」の影響から、奥尻町の復興プロセスを学ぼうとする視察議員が増えたものと推測されます。

【図1】



【図2】

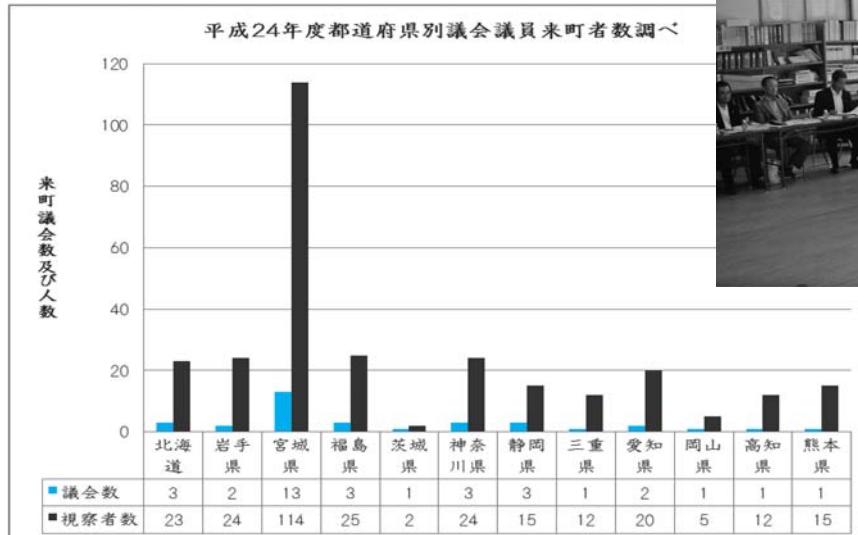


図2は、平成24年度で奥尻町へ視察で訪れた議会を都道府県別に表したもので、「東日本大震災」の被災地のひとつである宮城県からの視察者が最も多くなっております。

また、今後大震災が起こりえると予想されている「東海地震」や「東南海地震」、「南海地震」に関係する地域からの議会視察者も年々多くなっております。

奥尻町議会のうごき

10月

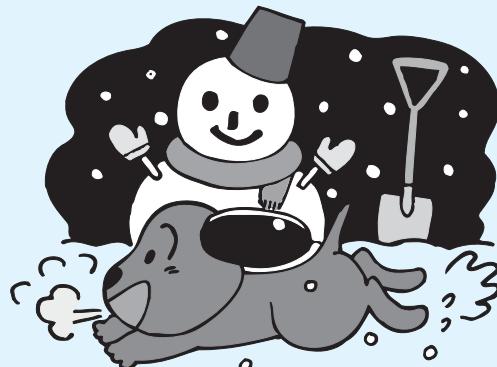
- 3～4日 平成24年度第2回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）…議員2名出席
- 10～11日 国道277号工事現場見学会及び地域主権フォーラムin檜山（八雲町、江差町）
…議長出席
- 19日 総務産業常任委員会開会
- 20日 全国離島振興推進員連絡委員会離島交流・視察研修に係る奥尻島意見交換会（町内）
…議長、副議長、総務産業常任委員長出席
- 27～29日 陸上自衛隊函館駐屯地創立62周年記念行事及び祝賀会（函館市）…議長出席

11月

- 12～17日 第31回離島振興市町村議会議長全国大会及び第56回町村議会議長全国大会及び
檜山町村議会議長会災害行政視察研修（東京都、岩手県）…議長出席
- 20日 総務産業常任委員会開会

12月

- 7日 議会運営委員会開会
- 11日 第4回奥尻町議会定例会開会
- 18日 広報編集特別委員会開会
- 21～22日 平成24年度第3回檜山広域行政組合議会定例会（江差町）…議員2名出席



編集を終え

年が変わり7月12日には北海道南西沖地震から20周年になる。

東北大震災では、仏式では3回忌になる。

奥尻では震災からの20年の今が、東北では震災から2年の今に関心が寄せられることになる。このときに、奥尻と東北が共に励ましあえるような交流の場を持つことができれば、意義のあることになるのではと考える。

20周年の追悼にふさわしいイベントにはどのようなものがよいのか、双方の地域で智恵を出し合えたらと思う。

奥尻では今、13人の檜山振興局から委嘱を受けた「震災の語りべ」が各地で奥尻の震災の実情と復興の歩みを語り続けている。

1月には幌延で、2月にはオホーツクの枝幸町、苦小牧、函館、釧路で語ることになつている。

「災害は忘れずにやってくる」のを肝に銘じながら・・・